

RV320およびRV325 VPNルータシリーズでのダイナミックドメインネームサーバ(DDNS)の設定

目的

ダイナミックドメインネームシステム(DDNS)は、通信プロトコル(ルータなど)を使用するネットワークデバイスがドメインネームシステム(DNS)にアクティブなDNS設定を変更する必要があることを通知できるようにするネットワークサービスです。異なるIPアドレスを持つルータを同じインターネットドメイン名で見つけることができます。DDNSを使用する利点は、固定ホスト名とドメイン名をダイナミックインターネットIPアドレスに割り当てることです。DDNSは、Webサイト、FTPサーバ、またはルータの背後にある他のサーバをホストする場合に便利です。

このドキュメントの目的は、DDNSサービスプロバイダー *DynDNS.org* および *3322.org* によって提供されるDDNSサービスの設定方法を説明することです。

注：これらの機能を使用する前に、*DynDNS.org* または *3322.org* でDDNSサービスにサインアップする必要があります。ルータは、WAN IPアドレスの変更をダイナミックDNSサーバに通知し、ネットワーク上のすべてのパブリックサービスがスタティックドメイン名を使用してアクセスできるようにします。

該当するデバイス

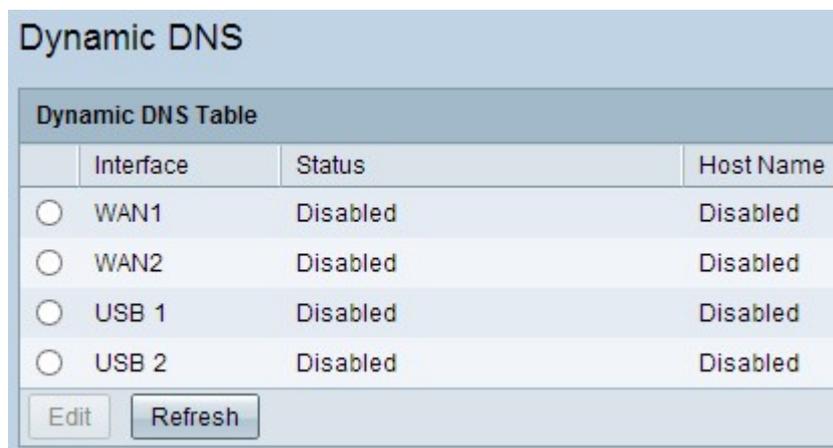
- ・ RV320デュアルWAN VPNルータ
- ・ RV325ギガビットデュアルWAN VPNルータ

[Software Version]

- ・ v1.1.0.09

ダイナミックドメインネームサーバ(DDNS)の設定

ステップ1: Web構成ユーティリティにログインし、[Setup] > [Dynamic DNS]を選択します。*[Dynamic DNS]* ページが開きます。



Dynamic DNS			
Dynamic DNS Table			
	Interface	Status	Host Name
<input type="radio"/>	WAN1	Disabled	Disabled
<input type="radio"/>	WAN2	Disabled	Disabled
<input type="radio"/>	USB 1	Disabled	Disabled
<input type="radio"/>	USB 2	Disabled	Disabled

Edit Refresh

ステップ2: *[Dynamic DNS Table]* の該当するオプションボタンをクリックし、DDNSを設定するインターフェイスを選択します。

Dynamic DNS

Dynamic DNS Table			
	Interface	Status	Host Name
<input type="radio"/>	WAN1	Disabled	Disabled
<input checked="" type="radio"/>	WAN2	Disabled	Disabled
<input type="radio"/>	USB 1	Disabled	Disabled
<input type="radio"/>	USB 2	Disabled	Disabled

ステップ3:[Edit]をクリックして、インターフェイスを設定します。

Dynamic DNS

Dynamic DNS Table			
	Interface	Status	Host Name
<input type="radio"/>	WAN1	Disabled	Disabled
<input checked="" type="radio"/>	WAN2	Disabled	Disabled
<input type="radio"/>	USB 1	Disabled	Disabled
<input type="radio"/>	USB 2	Disabled	Disabled

[動的DNS]ページが開き、新しいフィールドが使用可能になります。

Dynamic DNS

Edit Dynamic DNS Setup

Interface: WAN2

Service:

注:[Interface]フィールドには、ダイナミックDNSが設定されるインターフェイスが表示されます。

ステップ4:[Service]ドロップダウンリストから適切なサービスを選択します。

Dynamic DNS

Edit Dynamic DNS Setup

Interface: WAN2

Service:

使用可能なオプションは次のように定義されます。

- ・ 無効：非アクティブなサービスを表します。
- ・ *DynDNS.org*：ダイナミックDNSサービスを表します。ダイナミックDNSは、Infrastructure as a Service(IaaS)クラウドコンピューティングサービスプロバイダーであり、商用およびプライベートユーザにDNSサービスを提供するために使用されます。
- ・ *3322.org* — 3322サービスを表します。3322は、中国の商用ユーザおよび民間ユーザにDNSサービスを提供するために使用されます。

ステップ5:[ユーザ名]フィールドにアカウントのユーザ名を入力します。

The screenshot shows the 'Dynamic DNS' configuration window. The title is 'Dynamic DNS'. Below it is a section titled 'Edit Dynamic DNS Setup'. The form contains the following fields and values:

- Interface: WAN2
- Service: DynDNS.org (dropdown menu)
- Username: user_1 (text input) with a 'Register' button to its right.
- Password: [Redacted with dots]
- Host Name: office (text input), .dyndns (dropdown menu), .org (dropdown menu)
- Internet IP Address: 0.0.0.0
- Status: [Empty]

At the bottom of the form are three buttons: 'Save', 'Cancel', and 'Back'.

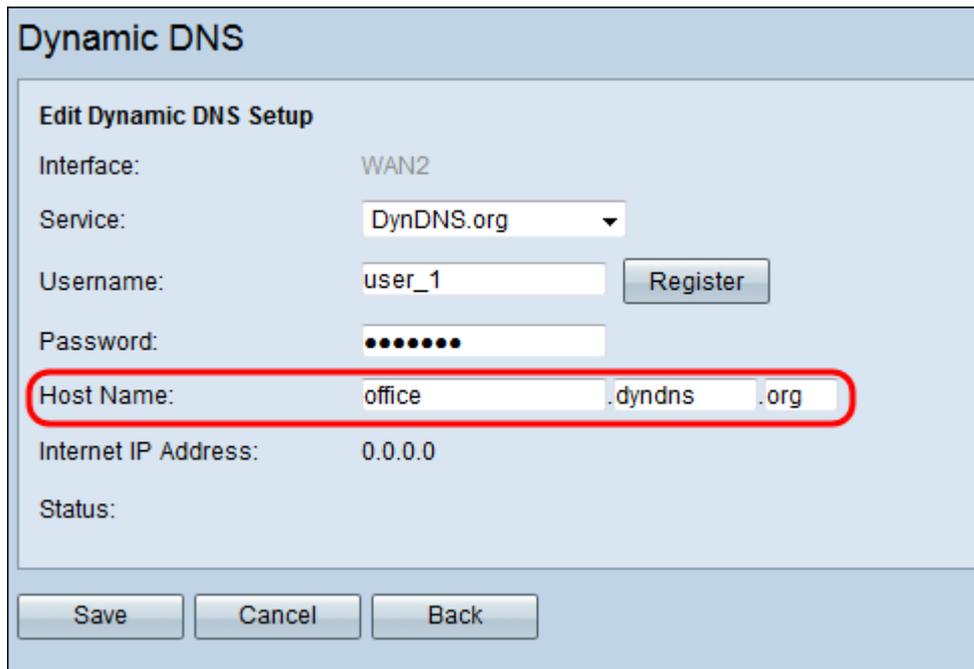
注：動的DNSまたは3322アカウントにサインアップするには、[登録]をクリックしてください。

ステップ6:[Password]フィールドにアカウントのパスワードを入力します。

This screenshot is identical to the previous one, showing the 'Dynamic DNS' configuration window. The 'Password' field is highlighted with a red rectangle, indicating where the user should enter their account password.

ステップ7：選択したサービスに基づいて、[ホスト名]フィールドにホスト名またはドメイン名を入力します。*DynDNS.org*を選択した場合、最初のフィールドにドメインまたはホスト名を入力し、2番目のフィールドに「dyndns」、最後のフィールドに「org」を入力しま

す。サービスとして3322.orgを選択した場合、最初のフィールドにドメインまたはホスト名を入力し、2番目のフィールドに「3322」、最後のフィールドに「org」を入力します。



Dynamic DNS

Edit Dynamic DNS Setup

Interface: WAN2

Service: DynDNS.org

Username: user_1

Password: ●●●●●●

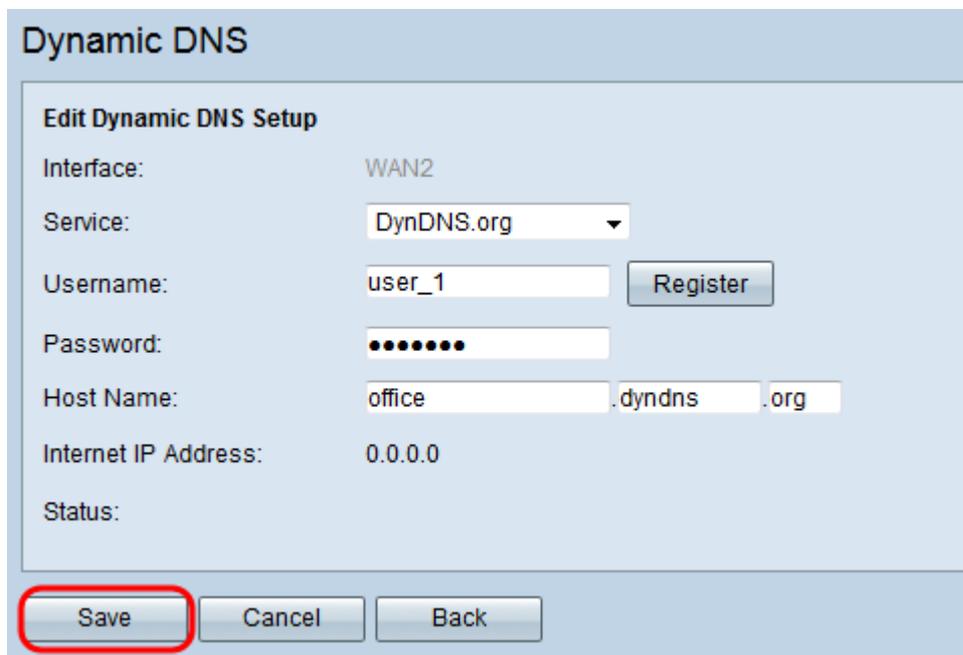
Host Name: office .dyndns .org

Internet IP Address: 0.0.0.0

Status:

注：[インターネットIPアドレス]フィールドには、特定のインターフェイスのWANのIPアドレスが表示されます。[Status] フィールドには、選択したサービスのステータスが表示されます。誤ったステータスを避けるために、正確な情報を入力してください。

ステップ8:[Save]をクリックして、設定を保存します。



Dynamic DNS

Edit Dynamic DNS Setup

Interface: WAN2

Service: DynDNS.org

Username: user_1

Password: ●●●●●●

Host Name: office .dyndns .org

Internet IP Address: 0.0.0.0

Status: